財界九州
2019年12月号にて
記事が掲載されました!!

建物配管の更生事業で沖縄の「手応え上々」

建物の給配水管を更生させる装置の販売を手掛ける**日本システム企画**（東京）。**熊野活行社長**は九州支店（福岡市）で、「沖縄出張所が開設3カ月目で（事業上の）手応え上々」と相好を崩す。マンションや病院、ホテルなどに配管更生装置「NMRパイプテクター」を提案している。

配管の寿命は一般的に20年程といわれ、老朽化が目立ち人体に有害な赤さびが発生した場合は更新する必要がある。同装置の設置で更新工事は不要で「赤さびを防止し40年以上延命できる」という。

設置費用は更新の5分の1以下で、国内外で4100棟以上（うち、マンションは3000棟以上）の導入実績がある。沖縄県で同様の提案はこれまでになく配管更生に社会的なニーズがあった。熊野社長はモットーとしている「今、そこで、できることから社会貢献」を果たせる感触を持っているところだ。